

平成 31 年度（令和元年度）

都市計画基礎調査

野沢温泉都市計画

野沢温泉村

は じ め に

～次世代へつなぐ みんなのふるさと野沢温泉～

本村は、古くからスキーと温泉を柱とする観光地として発展してきました。近年では、国内における観光客入り込みが減少するなか、当村においては外国人観光客や定住者が増加傾向にあります。しかし、依然として全国的な少子・高齢化による人口減少が続く厳しい時代を迎えている昨今において、当村は人口動態が横ばいもしくは増加に推移する傾向となっています。

海外や国内のあらゆる地域から人々が集い、賑わいを見せる本村では、新たな文化が生まれるとともに先人が守り続けてきた自然と独自の文化を後世に伝えていけるよう「胸湧きたち 未来へ歩み続ける 湯の郷・野沢温泉」を将来像とし、“次世代へつなぐ みんなのふるさと野沢温泉”をキャッチフレーズに魅力ある村づくりに取り組んでおります。

野沢温泉村の都市計画は、昭和35年に都市計画区域の決定以来、住居環境整備として翌36年から公共下水道事業に着手し、現在では水洗化率99%となっております。また、平成9年4月には下水道区域以外の地域においても農業集落排水の整備が完了し、水洗化が全村普及しております。

今後は、豊かな自然環境の保全と災害への備え、地域の発展を目指すとともに、かけがえのない財産を守るための街づくりを推進することが必要となります。

この都市計画基礎調査は、本村の現状と動向を把握し、新しい都市計画作りの基礎資料として活用していくためのものです。

令和2年3月

野 沢 温 泉 村

目 次

I. 調査結果	1
1. 人 口	1
人口の推計	3
2. 産 業	14
就業人口の推計	17
工業出荷額の推計	30
商品販売額の推計	32
3. 土地利用	34
5. 都市施設	39
6. 交 通	40
7. 地 価	41
8. 自然的環境等	42
9. 公害及び災害	45
II. まとめ	47